

石川県地域緩和ケア研究会

代表： 大和 太郎(やまと@ホームクリニック)

1. これまでの取組内容
2. 具体的な成果
3. 今後も継続して実施する必要性
4. 今後の取組と期待される効果

1. これまでの取組内容

目的

県内の医療介護従事者および県民に対する
ACPおよび緩和ケアの普及・啓発
⇒ がん患者とその家族のQOL向上

目標

会員の実践能力の
スキルアップ

施設間の
ネットワーク構築

緩和ケアの専門的知識や
技術の普及

活動

コミュニケーション
スキル研修

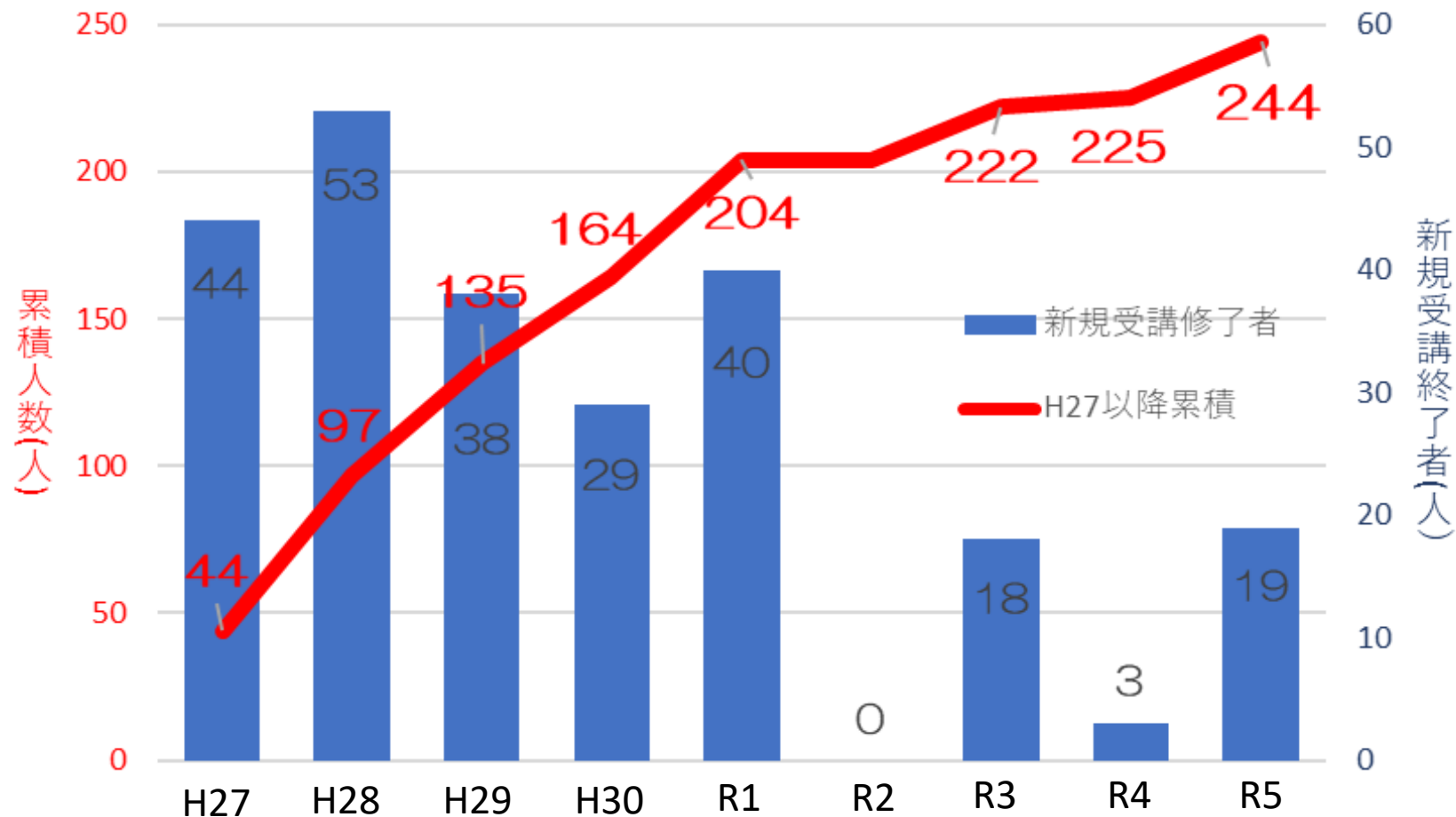
緩和ケアに関する
研修の開催

情報交換の場と
連携の構築

2. 具体的な成果

1. 当研究会で実施したNURSE-CST研修の受講者数

NURSE-CST：患者の感情表出を促すコミュニケーションスキル“NURSE”を用いた
コミュニケーション・スキル・トレーニング



2. 具体的な成果

2. 県内の医療・介護従事者にむけた研修会の開催実績

開催年度	テーマ	参加人数
平成30年	緩和ケア病棟について知ろう ～緩和ケア病棟のご紹介～	22名
令和元年	在宅緩和ケアにおける理学療法士の役割	22名
	多職種で考える地域緩和ケア	87名
令和3年	患者の思いを引き出すコミュニケーション	118名
	コロナ禍における緩和ケアの取り組み ～病院と地域をつなぐ～	98名
令和4年	患者の思いを引き出すコミュニケーション<続編>	48名

2. 具体的な成果

3. 県内の緩和ケアに関連した認定看護師のスキルアップを目的とした研修会の開催実績

緩和ケアに関連した認定看護師：緩和ケア認定看護師
がん性疼痛看護認定看護師

開催年度	テーマ	参加人数
平成28年	意思決定支援	19名
	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	8名
平成29年	認知症のあるがん患者の緩和ケア	22名
	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	5名
平成30年	NURSE-CSTファシリテーターフォローアップ研修	14名
令和元年	NURSE-CSTファシリテーター養成研修	5名
令和2年	オンラインツールを活用した研修運営	13名
令和4年	心不全患者の緩和ケア	15名

3. 今後も継続して実施する必要性

緩和ケアに携わる
認定看護師の
連携強化・スキルアップ

コミュニケーション・スキル・トレーニングに
よるACP実践能力や
意思決定支援の実践能力向上

石川県内の
緩和ケアの質の向上

緩和ケアに携わる
医療介護従事者の人材育成

がん患者の療養に関する
病院-地域の連携強化

4. 今後の取組と期待される効果

緩和ケアに関する
研修の開催

情報交換の場と
連携の構築

コミュニケーション
スキル研修

県内のがん患者と
その家族の
QOLの向上

地域の緩和ケア
の質の向上

各施設の緩和ケア
の質の向上

個々の会員の資
質・能力向上

【今後の取り組み/課題】

- 活動の継続
- 活動の成果の評価
→より具体化した活動の展開